

認めてほめる

「玉磨かざれば光なし」という言葉があります。どんなに優れた素質や才能をもっているも学問に励み努力を積み重ねなければ立派な人間になれないという意味です。子どもはあらゆる可能性を秘めている原石です。その原石を光り輝くようにするには、子ども自身の努力や鍛錬はもちろんですが、教師や親の声かけや働きかけも重要です。

子どもにとって励みとなるものの一つに「ほめられる」ことが挙げられます。ほめられることによって、子どもの心に変化が生まれるのも事実です。「物事に前向きに取り組む」「チャレンジ意欲が高まる」「自分は大切な存在だと思える」「自分に自信がもてる」「気持ちが安定し、学習意欲が高まる」など、ほめることの効果はいろいろあり、子どもの心身の豊かな成長を促すことにつながります。では、どのようにほめればよいのでしょうか。よく言われているのが次のような点です。

- ・ほめる内容は当たり前のことでよい。今できていることや伸びたところを見つける。
- ・できるだけ具体的にほめる。
- ・成果よりも努力の過程をほめる。
- ・忙しくても手を休め、子どもの顔を見てほめる。

何よりも大事なことは、その子自身を認めてほめることではないでしょうか。

防犯教室を行いました

7月14日（金）に、体育館で防犯教室が行われました。夏休みを迎えるにあたって、玉島警察署生活安全課の方からのお話を通して、防犯の意識を高め、ネットモラルについても学習しました。夏休みの間は、普段とは違って自由な時間が多くあるだけに、生徒たちが犯罪に関わったり、巻き込まれたりしなければと思います。そして、健康で安全に過ごし、9月1日に元気で登校してくることを心から願っています。次は、防犯教室の概要です。

- ・悪い誘いを断る勇気をもってほしい。人を思いやる気持ちを忘れないでほしい。困ったときや悩むときは、相談してほしい。
- ・中学生の検挙の中で多いのは万引きである。万引きは窃盗という犯罪である。共犯となるケースも多い。
- ・初めのうちは罪の意識があっても、繰り返すうちその意識が薄れていき、自分をコントロールできなくなり、大変なことになる。
- ・罪を犯せば、家族を大変傷つけ、辛い思いをさせてしまう。
- ・ケータイやスマホに頼りすぎると、持っていないと不安になったり、人と会って話すのが面倒になったりする。
- ・インターネットに名前等の個人情報を公開することは、個人情報を記述したボードを掲げて街中に立っているのと同じである。
- ・「匿名であれば大丈夫」ではない。ばらばらの書き込み内容や写真であっても、集められることで個人が特定されることがある。
- ・LINEにおいては、知らない人とIDを交換しない、IDをインターネット上に書かない、知らない人に友人登録されないなどの注意が必要である。
- ・LINE等、文字だけのやり取りでは誤解が生じやすい。相手と面と向かって話せばトラブルを避けられる事例が多い。
- ・インターネットやスマホの正しい使い方とは、互いの安心・安全な生活を守るためのルールを守ること、危険を予測すること、人を思いやること等である。